



本年もよりよい公民館報をお届けできますよう努めてまいりますので、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。  
公民館報編集委員一同

## 秋の市民ハイキング 〜紅葉の吾妻渓谷を歩く〜



今年の市民ハイキングは、紅葉の吾妻渓谷散策で、10月22日(土)に実施されました。

文化センター駐車場に集合し、参加者36名がバス1台に乗り合わせて、中軽井沢経由で目的地に向かいました。道中、車窓から鮮やかに色づく木々を愛で、移り行く景色を楽しんでいると、1時間余りで東吾妻町の溪谷パーキングに到着しました。そこでバスを降り、歩き始めました。



吾妻川沿いの国道145号線の遊歩道を上って行くと、日本一短いトンネルという全長わずか7・2mの樽沢トンネルがありました。その後「国指定名勝 吾妻峡」の案内標識を過ぎ、吾妻峡で一番の人気という鹿飛橋に出ました。吾妻渓谷の中でも特に川幅が狭いところで、鹿でも飛べるといのが名前の由来だそう。火山が噴き出した溶岩を吾妻川の水が深く浸食して出来た溪谷美はみごとで

見応えがありました。ただ、紅葉はこれからといったところでタイミングが合わなかったのが残念でした。更に旧熊の茶屋まで上り、その先はダム工事のために通行止めになっているため、Uターンしてから対岸に渡り、道の駅「あがつま峡」まで歩きました。途中、林間から八ッ場ダム工事の一端を垣間見ることができました。ダムは吾妻渓谷の中途に造られ、完成すると一部はダム湖に沈むこととなります。併せて、工事に翻弄された人々に思いを馳せました。アップダウンを歩いて道の駅に着き、昼食。一带は公園として整備され、温泉施設や農産物直売所もあり、賑わっていました。

午後は、天明の浅間山大噴火による熱泥流等にも耐えた矢倉の神代杉(一名親子杉)

を周遊し、大河ドラマ「真田丸」にも登場した岩櫃城址を訪ねました。真田道の中間地点として重要だった岩櫃城へ至る平沢登山口からの道は急峻で、息を切らして登りました。本丸城址に唯一建つ東屋のテーブルには、様々な硬貨で作られた六文銭が並んでいて、私たちも合作で供えました。そして城址のある岩櫃山を下り、帰路に着きました。

自然散策に加えて話題の歴史探訪と、タイムリーな企画で、参加者の皆様に好評でした。天候にも恵まれ、お陰様で気持ち良いハイキング日和の一日を堪能しました。

編集委員 神津 眞美子

